登録トークン

Cerberus Enterpriseは登録トークンを使用して Android
デバイスの登録（プロビジョニング）プロセスを開始します。選択したトークンによって、登録済みデバイ
スに適用される初期ポリシーが決まり、許可されるプロビジョニングモードが左右されます。

Android登録トークンのタブは、 Android Managementの設定
を完了した後にのみ使用できます。

登録トークンの場所
ダッシュボードで 登録トークン を開きます。アカウントの構成に応じて、ページには複数のタブ（ Android トークン、 Googleサインイン登録、 Appleの手動登録、 Apple Automated Device Enrollment
）が表示される場合があります。

Androidエンタープライズが管理対象 Googleドメイン（ Google Workspace
）によってサポートされている場合、ダッシュボードには Authenticate Using Google
Enrollmentタブも表示されます。有効化と使用方法の詳細については、 Authenticate Using

Google Enrollmentを参照してください。

登録トークンのリスト（ Android）
Android
トークンのタブには、すべてのトークンのテーブルが表示されます。行をクリックすると、トークンの詳細
ページが開きます。

列

ステータス ：有効 （デバイスはこのトークンで登録できます）、 期限切れ
（有効期限が過ぎています）、または 使用済み （すでに使用された 1 回限りのトークン）です。
ポリシー ：トークンに割り当てられたポリシー（ツールチップにポリシー ID が表示されます）。削除されたポリシー は、トークンの作成後にポリシーが削除されたことを意味します。

ユーザー ：このトークンで登録されるデバイスに事前に割り当てられたオプションのユーザー。
削除されたユーザー は、トークンの作成後にユーザーが削除されたことを意味します。
登録数 ：このトークンで登録されたデバイスの数。 1 回限りのトークンでは n / 1 と表示されます。
個人利用 : 許可 / 不許可 / 専用デバイス。
作成日 ：トークンが作成された日時。テーブルには新しいトークンが最初に表示されます。
有効期限 : 有効期限の日時、または なし 。
登録コード ：トークンのコード。 QR
コードを使わずにデバイスを登録するときに入力するものです。

アクション

各行には削除アクション（ 登録トークンを削除
）があります。ライセンスが期限切れの場合、削除は無効になります。
テーブルは複数行の選択をサポートしています。選択モードを有効にして複数のトークンを選択し
、選択したトークンを削除 で削除できます。
更新アクションを使用してリストを再読み込みします。テーブルはページ分割されています（ 1
ページあたり 10/25/50項目）。

新しい登録トークンを作成する
Androidトークンのタブで 新しい登録トークン
をクリックすると、トークン作成ページが開きます。ライセンスが期限切れの場合、作成ボタンは無効にな
ります。

トークンのオプション

1. ポリシー

必須。 このトークンを使用して登録されたすべてのデバイスに自動的に適用されるポリシーです。 Android

ポリシー のいずれかを選択します。まだポリシーがない場合は、先に作成してください。

2. ユーザー

任意。設定すると、新しく登録されたデバイスがこのユーザーに自動的に関連付けられます。

3. 個人利用

この登録トークンでプロビジョニングされたデバイスで個人利用を許可するかどうかを制御します：

許可:
個人所有デバイス（ワークプロファイル）および仕事と個人利用向けの会社所有デバイスに適して
います。
不許可: 仕事専用の会社所有デバイス（完全管理）に適しています。
専用デバイス : キオスク /
専用デバイスに適しています（デバイスは単一のユーザーに関連付けられません）。

4. 許可される使用回数

トークンを複数回使用できるか（ 複数回 ）、 1回のみ使用できるか（ 1回のみ ）を選択します。

5. 有効期限

有効期限の単位（ 分 、時間 、日 、または なし
）を選択します。「なし」以外の場合は、有効期限の値を入力します。許可される範囲は選択した単位によ
って異なり、最大 10,000日まで設定できます。

6. Google認証

デバイス登録時にユーザーが Googleアカウントで認証する必要があるかどうかを制御します：

未指定: エンタープライズレベルの Google認証設定を使用して、登録時にユーザーが Google
で認証する必要があるかどうかが決まります。
任意: ユーザーは登録時の Google認証をスキップできます。
必須: ユーザーは登録を続行するために Googleアカウントで認証する必要があります。

必須 を選択すると、オプションの 必須アカウントのメールアドレス
フィールドが表示されます。設定した場合、ユーザーは登録時にその特定の Google
アカウントで認証する必要があります。

プロビジョニングオプション（ QR コードのみ）

これらの追加オプションは QRコードに埋め込まれ、 QR コードをスキャンして登録する完全管理デバイスのプロビジョニング中に適用されます。ワークプロファイ
ルや、登録 URLまたはトークンを使用して登録されたデバイスには適用されません。

Wi‑Fi構成

これを使用すると、プロビジョニング中にデバイスを Wi‑Fi に自動接続させ、管理アプリをダウンロードして初期化できるようにします。使用可能なフィールドには、
SSID、非表示 SSID、セキュリティ 、および（必要な場合は） パスフレーズ があります。

HTTPプロキシ（ プロキシ ）を構成することもでき、モードに応じて ホスト /ポート 、 PAC URI、プロキシバイパスホスト を設定できます。

その他のオプション

追加オプションには、 ロケール 、タイムゾーン 、暗号化をスキップ があります。

登録トークンの詳細
トークンを開くと、詳細ページにトークンの構成と使用状況が表示されます：

ステータス 、有効期限 、使用状況 、 個人利用 、 許可される使用回数
、および（設定されている場合） Google認証 とオプションの 必須アカウントのメールアドレス
。
トークン : 登録トークンの生の値（コピー可能）。
登録 URL: Google Android Enterpriseの登録 URL（コピー可能で、メールで送信できます）。
QRコード: ページの右側に表示され、完全管理デバイスの登録に使用されます。

プロビジョニングの手順については、 Android登録ガイド（ 個人所有デバイス 、

仕事と個人利用向けの会社所有デバイス 、仕事専用の会社所有デバイス 、Zero-touch
）に従ってください。

Revision #64
Created 2025-12-17 10:39:43 UTC by Admin
Updated 2026-11-12 09:56:08 UTC by Admin